



竹元まき子

2歳より日本舞踊を始め、18歳で師範免許取得。全国舞踊コンクール第2位。国立劇場、新橋演舞場等に多数出演。長唄、義太夫、声楽と異なるジャンルで声を磨く。琴生田流奥伝取得、鼓、三味線等芸事を幅広く修め劇団前進座に入座。退座後、ことばの会エクセルシアを立ち上げる。朗読の可能性を追求しながら朗読家として活躍を続ける。朗読は、映像や演劇とは異なる技術が求められる最もシンプルで奥深い表現法である。だからこそ、実感の伴わない言葉を声に発しても、聞く人の心には響かない。生きた言葉を客席に届けるこそが朗読の真髄と信じている。
中日文化センター、他朗読教室主宰。

第一部

こころよく祈りの詩人 八木重吉

演出 森野カノ

重吉の詩からあふれくる愛する家族へのまなざし、自然への深い洞察。さらには自らの弱さやかなしさを見つめるがゆえに求めていった『ほんとうにうつくしいもの...』。二十九歳の若さで逝ってしまった重吉の詩は童心のようにやさしい言葉で書かれていながら強い意志を持ち、時空を超えて現代の私たちに何かを問いかけてきます。

ささやかなものがたりたち

作 あさのあつこ
台本・演出 竹元まき子

全国的に過疎化が進み、消えゆく集落、町が増えつつある今、先人たちの生活に想いを馳せ、文化を残そうとする人々も少なくありません。私たち日本人の心の礎を積み上げてきた古来の人々から受け継ぐ風景、生きる人々の想いを紡ぐーそんな願いがこもった作品です。夫浅野征大氏の写真と共に楽しみな下さい。

第二部

拝啓 陶芸家様

作 覚和歌子
演出 竹元まき子

「千と千尋の神隠し」主題歌「いつも何度でも」の作詞を手掛けた覚和歌子さんによる作品。小説でも詩でもないかろやかな言葉は、やがて静かな祈りとなり触れるものの魂を研ぎ澄ませてゆく...。声にすることで言葉が光を放ち、物語がより引力を増して浮かび上がります。「生きている不思議 死んでいく不思議」が自分と世界との間で溶け合うとき、あなたはどこにいますか。



伊藤千香子



金子智恵子



木原和子



蛭川美穂



森恵子



森野カノ



ギター 遠藤マサアキ

～これまでの公演アンケートより～

- ・ことばが立体となって深く、また広く私の心に染み入った
- ・「読む」という静かな行為から生まれる動の世界が圧倒的でした
- ・これまで体験したことのない空間に、自分の心が満たされていく幸せを体感した
- ・身ひとつで物語のなかへ聴き手を招き入れる力に引き込まれた
- ・これが朗読なんだと驚くばかりでした

制作：竹元真一郎

2015. 3/26(木)・27(金)

14時開演 14時/18時半開演

全席自由 前売 3,000円 当日 3,500円

*未就学児のご入場はご遠慮いただいております

2015年	3/26(木)	3/27(金)
開演時間	14:00	14:00
		18:30

*開場は開演30分前です

チケットのお求め方法

窓口・直接購入

本チラシをご提示頂きますとスムーズにご購入して頂けます

- ◆中日サービスセンター(中日ビル1F) ☎052-263-7282
- ◆名古屋市文化振興事業団チケットガイド(ナディアパーク8階)
- ◆チケットぴあ(Pコード:441-413)
- ◆サークルK・サンクス/セブンイレブン(Pコード:441-413)

お電話でのご購入

- ◆名古屋市文化振興事業団チケットガイド ☎052-249-9387
- ◆チケットぴあ ☎0570-02-9999(Pコード:441-413)

インターネット予約

- ◆チケットぴあ <http://pia.jp/t> (Pコード:441-413)

HITOMI ホール

名古屋市中区葵三丁目21番19号
メニコン ANNEXビル5階



アクセス

- JR千種駅 5番出口(地下改札口方面) 徒歩4分
- 地下鉄東山線 千種駅 5番出口 徒歩4分
- 地下鉄桜通線 車道駅 4番出口 徒歩7分